

なりた
成田

としお
年雄 議員

入札制度の改善と仕組みについて

- ①町の発注する工事は、地域産業育成、或いは雇用対策などに繋がるので、町内業者に発注すべきと思うが、これについて伺う。
- ②不適格事業者が参入した場合について伺う。
地域や住民生活に甚大な影響を及ぼすことになることから、本町で導入している「競争入札参加資格者格付審査基準」を見直し、早急に事例収集に努め、本町として独自の選定、指名審査基準を設け、ランク制の導入を図る必要があると考えるが、町の考え方を伺う。
- ③委託業務の業者選定については、町民の生活に密接に関わっている業務であることから、委託業者選定には、施設の規模・人員、また、業者の過去の実績及び財政基礎の把握や検証を行い、相応な経験を有することが必要となるのではないかと、考え方を伺う。
更に、幕別町として、今までの取り組みで良かったのか、ランク制導入があっても良かったのではないかと、町長の考えを伺う。



指定管理者制度を導入し
委託している百年記念ホール

町長

①町が実施する事業を町内の事業者が発注することは、町内事業者の育成を促すこととなり、地域経済の活性化と雇用の確保、拡大を図り、ひいては町民の暮らしの向上につながるものと認識を同じくしている。

本町では、各種事業の発注に際し、特殊な技術力等が必要で、町内業者では対応できない場合を除き、指名競争入札参加者指名選考委員会において、経営状況、受注実績及び技術水準などを考慮の上、町内事業者を指名している。

今後、地域経済への影響などを考慮し、これまでと同様の考え方を基本に、指名競争入札を実施していきたい。

②現在、本町では、建設業法の対

象となる土木工事、建築工事、電気工事及び管工事の事業者については、「建設業法に基づく経営事項審査（いわゆる経審）の項目及び基準の定め」による客観的要素の評定数値をもって、格付を行っている。

比較的規模が大きい都市では、独自の審査基準を設けている例もあると聞いているので、今後は、総合評価方式の導入なども含めて研究をしていきたい。

③ゼロ円入札などの低価格入札を防止し、業務の質の悪化による住民サービスの低下や業務従事者の賃金水準の低下を招かないよう、本年度からは最低制限価格の見直しを行っている。

委託業務に関する独自の審査項目及び基準を設けて格付を行っている例があるが、業務の内容や業者数の関係から、現段階においては、新たな審査基準を設けることは難しいものと考えている。

今後は、価格競争だけではなく、より質の高いサービス等を提供してもらうために、技術の信頼性などを評価対象に加え、総合的に判断し、どういった方法が有効か研究を進めることが必要であると考